



Since 1997

The Comet

The Newsletter of K. International School Tokyo

Volume 14 | Issue 2 | October 2010

⇒ この号では...

- ▶ ハビタット・フォー・ヒューマニティ...p. 2
- ▶ クリエイティビティ・アクション・サービス...p. 3
- ▶ バイオリンの名手...p. 5
- ▶ ファウンダーズアワード...p. 6
- ▶ KISTにおけるLEAPの活動...p. 6
- ▶ 自分の問題と向き合おう...p. 7
- ▶ ハイスクール演劇祭...p. 8
- ▶ G8キャンプ報告...p. 9
- ▶ KISTで実施するPSAT...p. 10
- ▶ 文化をシェアする...p. 10
- ▶ セカンダリーSRC...p. 11
- ▶ KISTival 2010...p. 12

「想像力は知識より重要である。知識には限界があるが、想像力は世界を取り囲むことができる。」

Albert Einstein

学校長より

皆さん、こんにちは。本年度が始まって7週間が過ぎ、KISTival 2010はすぐそこまで来ている。この行事の開催にあたって、保護者、生徒、スタッフなどすべての皆様が計画や準備に奔走してくださっていること、また携わってくださっていることに感謝いたします。沢山の皆様の協力なくしては、この行事を成功させることはできません。当日の売上は、本年度の生徒の学校生活のために使われます。主に、テクノロジーの充実に使用されます。

様々なミーティング、行事における保護者の皆様の出席状況は非常に素晴らしく、本年度皆様とともに活動するのがとても楽しみです。なお、認可プロセスの開始に向けて準備を行う上で、この秋の数カ月は保護者、スタッフ、生徒から本校と本校のミッションに関して情報を集めています。

数週間前のコーヒー・モーニングにおいて、保護者の方々は本校のSWOT分析(Strengths強さ、Weaknesses弱さ、Opportunities機会、Threats脅迫)を行いました。この活動の趣旨は、理事たちが本校の戦略的な計画を作るための情報を収集することでした。さらに、認可のため、本校では皆さんからの情報をもとに、本校の教育理念を再考し、生徒のニーズに合っているものであることを確認します、多くの皆様から本校の発展に寄与したいという声をいただきましたので、皆様に参加できるフォーラムを追加で行うことにいたしました。ぜひ、予定を空けておいてください。

- ・ 11月19日(金) **KIST SWOT分析** 午前9時/午後6時
多目的室—このセッションは、初回のSWOT分析を行ったコーヒー・モーニングに参加できなかった保護者の方のためのセッションです。
- ・ 11月23日(火) **KIST教育理念ワークショップ** 午前9時/午後3時30分/ 午後6時
体育館—3つのうち好きな時間帯にご参加ください。各ワークショップは1時間から2時間ほどです。
- ・ 11月30日(水) **フレンズ・オブ・KISTミーティング** 午後3時30分
多目的室—これは、フレンズ・オブ・KIST(本校の保護者会)の会議です。

コミュニケーション・コラボレーション・コミュニティ実現のために、ご協力くださり、また子どもたちに質の高い国際教育を実施するために共に活動くださりありがとうございます。KISTのコミュニティにおいて、保護者とスタッフの間のコミュニケーションを充実させるため、本校では、KIST Family Directory(連絡先名簿)を作成します。保護者によっては、KISTのコミュニティの中で連絡先を公開されることに抵抗を感じる方もいらっしゃるでしょう。その場合には、オフィスにご連絡ください。

KISTivalで皆様にお会いできるのをとても楽しみにしています。今年は、この行事が芝生の上で行われる初めての年でもあります。非常に難しいことですが、芝生の上で飲食をしないよう来場者に優しく注意するのを手伝ってください。ご協力ありがとうございます。また当日お会いしましょう。

Nanci Shaw, Ph.D.
Head of School

DATES TO REMEMBER



October 16:
(S) PSAT tests

October 22:
Festival preparation day –
(L/P) No school for students /
(S) School day

October 23:
School Festival (KISTival 2010)
Last day of first quarter

October 24 – 31:
Autumn vacation

November 3:
(L/P/S) Parent/Teacher/Student
interviews (Attendance compulsory)
Middle School Drama Festival at
KIST
Board of Directors meeting

November 5:
(P/S) Inter-House Cross Country

November 10 – 12:
(G6) Trip

November 19:
(P/S) Inter-School Cross Country

November 22 – 24:
Staff development days (No school
for students)

November 30:
PYP parent information session (2)

ハビタット・フォー・ヒューマニティ2010

KISTコミュニティの皆様

ハビタット・フォー・ヒューマニティのプロジェクトの一環として、6月20日から29日まで行われた生徒と教師のサマー・ボランティアにおいて、貢献した一人である生徒の報告を皆さんと共有することができることを喜ばしく、また誇りに思います。

このプロジェクトは、2009年～2010年度に集められた寄付や募金から援助を受け、実現することができました。私たちの活動に寄付をしてくださったコミュニティの皆さんに、ハビタット・フォー・ヒューマニティのKISTチームを代表して心から感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。以下にあります生徒の報告を読んでいただいても分かりますように、この経験はGitgitの村の人々にとっても、本校の生徒にとっても、充実した、価値のある経験となりました。

今回の活動を支援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

Daryl Bates

CAS Coordinator and Team Leader

Selamat Pagi!

夏休みの1週間前に、G11から12人の生徒(Argi, PPO, Matt, William, JC, Jeff, Jessica, Aki, Hikaru, Dingyun, Tahlia, Faye)と2人の先生(Ms Hudson and Mr Bates)が、家を必要とする人々を助けるための1年間の寄付活動を経て、インドネシアのバリ島へと向かいました。まずはバリの観光地であるKutaに到着し、車に乗って山の中を移動し、ボランティア期間に滞在したLovina Beachへ向かいました。私たちは山の中にあるGitgitという場所に家を建てたので、毎日ボランティアを行う際には山の中まで移動しました。

ボランティアを行った場所では、地域のインドネシア人の労働者や、ハビタットの他のメンバー(特にMartunとYogiが私たちの大きな助けとなってくれたので、お別れしなければならなかったのがとても寂しかったです)、家に住む予定の家族、そしてもちろん、とても熱心な地域の子もたちと共に働きました。

ご家族の皆さんは、とてもおいしいインドネシア料理やコーヒーを振舞ってくれたり、インドネシア語を教えてくださいました。例えば、「危険」という意味の'Hati-hati'は仕事に



周りを走り回る元気な子どもたちを注意する際に役立ちました。また、'enak'は「美味しい」という意味だったので、振舞われた素晴らしい料理や飲み物を感謝する際に使えました。

残念ながら、家を完成させるには至りませんでしたが大いに貢献することはできました。私たちは残って完成させたかったのですが、悲しいことに、Kutaに戻らなければなりません。Kutaで数日間ツアーを行い、すでに身につけていた文化への理解を、忘れがたいツアーガイドと共により豊かなものにしました。

このような素晴らしいボランティア活動と異文化体験を可能にするため、助けてくださったり、寄付をしてくださったすべての皆さんに、感謝いたします。

Terima Kashi Banyak!

Faye (G12)

2011-2012の出願について

2011-2012年度入学の出願が始まっています。

出願の締切日は、2010年12月17日です。面接や試験は、1月中旬に行われ、結果は2月初旬にお知らせします。お子様のKISTへの入学を希望されている方は、締切日を間違えないようお願いいたします。また、お知り合いの方にKISTへの入学に興味がある方がいらっしゃる場合には、この情報をお伝えしていただければと思います。

出願方法の詳細は、学校のホームページの入学(Admissions)>>書類(Documentation)ページにある入学案内(Admission Handbook)をご覧ください。

Craig Larsen

Director of Admissions and Personnel

クリエイティビティ、アクション、サービス

この場を借りて、KISTにおけるCASプログラム(クリエイティビティ、アクション、サービス)をご紹介しますと思います。CASは、ディプロマ・プログラムの学習の六角形において必須の要素になっています。つまり、IBディプロマを受けるために生徒は6つの教科グループとエクステンデッドエッセイを実施すると同時に、CASプログラムを行う必要があるのです。

私、Daryl Batesは、このプログラムをコーディネートしています。CASに関係することについては、d_bates@kist.ed.jpまでご連絡ください。

「CASは、生徒に経験に基づく学びを通して、個人的な、また対人的な発展を遂げることを可能にします。同時に、DPプログラムにおける学問的なプレッシャーに対してバランスを取るものとしての役割も果たします。CASを終了することが、IBディプロマを受ける上で必要な条件となっています。CASは形式的に評価されることはありませんが、生徒は自分が行った活動を記録し、8つのキーとなる学習の成果を達成したことを証明しなければなりません。」



KISTにおいて、CASは、オンラインのデータベースで管理され、これを使用して生徒はコンピュータ上に、求められる証拠をアップしたり、個人の振り返りを行うジャーナルを書いたりします。各生徒は、個別のプロフィールとパスワードを持ち、ネット環境にあるコンピュータであればどのコンピュータでもデータベースにアクセスすることができます。この機関を通じて、CASアドバイザーと生徒は連絡を取ると共に、CAS関連の書類をすべて保存することもできます。

ディプロマ・プログラムを修了する際に、生徒はこのCASプログラムの達成に関して詳しいレポートを書きます。そしてこのレポートは大学への出願や、採用への応募の際に一緒に提出することもできます。

本年度が始まって数カ月が過ぎ、G11の生徒は、CASの活動を始めました。そしてG12の生徒は活動を行っている最中、または終わりに近づいているところです。

生徒は、3つのエリアであるクリエイティブアクティビティ、アクションアクティビティ、サービスアクティビティの中でどのような面白い方法で学習の成果を出そうか考えています。よって、ぜひ、ご家族、また本校のメンバーである皆さんが、何かCASの活動ができる可能性のある機関を知っていましたら、ご連絡いただければと思います。現在、生徒が参加しているのは以下のような活動が挙げられます。

ハビタット・フォー・ヒューマニ



ティ、フリー・ザ・チルドレン、ジュニアAPEC会議、ポーランド大使館ボランティア、模擬国連、ピアノレッスン、ギターレッスン、柔道、テニス、バスケットボール、ジョグワダンス、生け花、ドラマフェスティバル、ヒップホップダンス、ヨガ、ピア・チューター、ケーブル・スキー、障害者センターボランティア、などです。

G11とG12の保護者の皆さんは、お子さんのディプロマ・プログラムのこのような活動について理解しておいてください(詳細はDPハンドブック参照)。そして、G10の保護者の皆さんもディプロマ・プログラムにおいて‘experience learning’が奨励されていることを意識しておいていただければと思います。

何かご質問、コメント、またこのプログラムをより豊かにするためご意見があります場合には遠慮なくご連絡ください。

Daryl Bates

Subject Area Coordinator, Visual Arts
CAS Coordinator

コミュニティ・コネクション

こちらの短いメッセージでは、KISTに新しく導入されるCommunity Connections Committeeについてお知らせいたします。このグループは、学校や地域コミュニティの中でネットワークを作ることを目的とてきます。これに際して、委員会とともにプログラムや方策を作り上げること、学校内、または学問のニーズにおいて補助をすることに興味のある保護者の方を募集しています。2010年10月23日にあるKISTivalにおいて登録ボードについてお尋ねください。また、www.kist.ed.jp/blog/9にブログが開設予定です。そして委員会の委員長であるMs Cahillへはn_cahill@kist.ed.jpで連絡を取ることができます。興味を持たれた多くの保護者の皆様とお会いできるのを、また来年度、一緒に活動ができることを楽しみにしています。

KIST Community Connections Committee



エレメンタリースクール: ニュース

G1-G5中間成績表

本校におきましては、ご存知の通り、年に2回、1学期は1月に、2学期は6月に成績表を発行しています。しかしながら本年度から、これらの間の時期に中間レポートを発行します。最初の間成績表は11月3日(水)の三者面談の時に渡されます。この時に、担任の先生がこの成績表について説明し、その時までの生徒の成長ぶりに関してお話することになります。ポートフォリオとは別に、この間成績表によってお子様の成長ぶりが学期末成績表の間に分かっていたらよいなればと思っています。

K3-G5の集会

K3からG5におきましては、月に2回、通常月曜日に体育館で開催される集会にぜひ保護者の方々をお迎えしたいと思っています。集会によっては、全校、学年、クラス、個人で行うパフォーマンスもあります。集会の日時やその他の一般的なクラスのニュースに関してはクラスのウェブサイトをご覧ください。

放課後のK1-K3の生徒の監督

K1-K3の生徒は学校が終わる午後2時になると放課後となります。お子さんがアフターケア、またはクラブに登録されていない場合には、お子さんの監督責任は保護者の方になりますので、校内の敷地で他の保護者の方とお話しているような時であっても、常にお子さんが保護者の方と一緒にいるようにしてください。こうすることによって、お子さんの安全を確保できると共に、午後2時以降にも行われているクラスの邪魔をせずに済みます。保護者の皆さんがお子さんを監督していただくと、非常に助かります。

G5遠足METI(経済産業省)

10月5日にG5のクラスは、経済産業省とベタープレイスジャパン株式会社へ校外学習に行き、現在の探究ユニットに関連した様々なことについて学びました。

両機関とも、当校が初めてのインターナショナルスクールの受け入れでした。G5生徒は、それぞれのリサーチについて不思議だと思ったことや思慮深い質問をしました。経済産業省においては、日本経済と資源の利用についてのプレゼンテーションの後、日本で唯一の電気自動車の電池交換所を訪問しました。自動化されたバッテリーの交換所は電気自動車、主に六本木の地域のタクシーの電池を60秒で補充します。

今回の遠足を実現させていただきました、本校の理事メンバーであるMr Ichikawaに心から感謝いたします。また更には全員に昼食もプレゼントくださりありがとうございました。G5担任のMr YoshiharaとMrs Astrop、補助で付いてきて下さった保護者ボランティアの皆さまにも感謝いたします。今回のわくわくするとても楽しい学習を通して、生徒はクラスや個人としてより深い探究をするやる気が増したようです。

Greg Brunton
Elementary School Principal



経済産業省において遠足を楽しむ
G5の生徒

エレメンタリーの理科

理科の力: 観察

科学者は、データ(情報)を集めるために、観察を行います。観察の方法には以下のようなものがあります。

- 生物、無生物をよく見て、その詳細を知る。視覚、嗅覚、触覚、聴覚、味覚などすべての感覚を使いましょう。
- 時間をかけてどのように物事が変わっていくか、24時間、1週間、1カ月など観察してみましょう。

観察した結果を、使いやすいツール、つまり表やチャートを使用して記録するのを忘れないようにしましょう。



理科のおもしろい情報#2:
 沢山の科学者が、小惑星の衝突が約6500万年前に恐竜を絶滅させた
 と信じています。

Susan Lee
 Elementary Science Coordinator

バイオリンの名手

10月9日(土)に、Alyssa (G8A)が新宿の四谷コミュニティセンターにてArce e coda String Orchestraと共にビバルディのDouble Violin Concerto in d minor を演奏しました。



Alyssaは、聞き惚れている観衆に、美しい音楽を演奏しました。G11DPの音楽のクラスに所属する生徒や、Mr Adamsが聴きに行きました。Alyssaはチャイコフスキーも演奏し、また、ジブリのものけ姫の曲もオーケストラとともに演奏しました。コンサート終了後に、AlyssaはG11と指揮者との間でコンサートについての面談を企画しました。この機会を通して、オーケストラのテクニックや、映画のために久石氏が使用したオーケストラのテクニックについて学ぶことができました。また、指揮者は、使用した楽譜をG11の授業で使えるようMr Adamsに貸してくれました。



Trevor Adams
 Secondary Music Teacher

Alyssa、コンサート成功おめでとう！そして、G11の生徒に素晴らしい学習の機会を与えてくれたことに、感謝します。

セカンダリースクール・ニュース

もうすぐ秋休みとKISTivalがやってくるなんて信じられませんか！

セカンダリースクールが今年度、力を入れているのは、ご家族とのコミュニケーションです。時間通りに手紙を受け取ることができるよう、ご家庭への手紙はメールにて行います。KISTのニュースレター“The Comet”は年に6回配布します。1年を通じて、校長やコーディネーターを交えたコーヒー・モーニングを何度も行います。そして、もちろん、各クラスの保護者代表も重要です。

本年度は、クラスペアレントは、コミュニケーションや本校の成長のためにより大きな役割を果たしていただきます。クラスペアレントは年間数回ミーティングを行い、KISTについて振り返りを行ったり、本校の将来を考えたりします。もちろん、校長と話をするのが恥ずかしいと感じる方もいらっしゃることも分かります。よって、本校といたしましては、クラスペアレントが中心となってこの壁を取り除いていただきたいと思います。また、クラスペアレントの皆様には、KISTをサポートしようと立候補して下さったことに感謝いたします。

以下に、コミュニケーションを助け、KISTをサポートして下さるクラスペアレントの名前を挙げておきます。

Grade	Student's name	Parent's name
6A	Armina	Marie
6B	引き続き、募集中です。	
7A	Hamish	Ido
7B	Koharu	Joy
8A	Rino	Chinami
8B	Yuka	Hiroimi
9A	Shu	Scott
9B	Taisei	Akiko
	Miku	Shinobu
10A	Chaitanya	Vandna
10B	Joe	Juliane
11	Cameron	Yuko
12	Shreya	Priya

私のオフィスはいつでも訪問可能で(メインビルディングの3階)、電話(03-3642-9993)も、メール(r_schneider@kist.ed.jp)も、いつでも受け付けております。遠慮なく何でもご連絡ください。

Robin L. Schneider
 Secondary School Principal



解剖について学ぶG7の生徒たち。

オフィスより

生徒の欠席に関して

昨今、無断欠席をする生徒が多数見受けられます。よってご家庭の皆様には、お子さんが欠席される際には、可能な限り事前に欠席の連絡を直接オフィスに入れることを徹底して下さるようお願いいたします。以下に示すように、連絡の仕方は、欠席期間の長さによって異なります。

1日または2日

始業前に電話かファックス、メールにてご連絡ください
お子さんの氏名、クラス、欠席の理由をお知らせください。欠席の連絡は生徒本人ではなく、必ず保護者の方が行ってください。

3日から1カ月

Application for Temporary Absenceのフォーム(スクールのホームページからダウンロード可能)をオフィスに直接提出してください。

1カ月から1年

Application for Extended Leave of Absenceのフォーム(スクールのホームページからダウンロード可能)をオフィスに直接提出してください。

欠席の連絡についての詳しい手順については、スクールのホームページ「Admissions>>Documentation」のページにありますスクールハンドブックをご覧ください。すべてのご家庭の皆様、決められた手順を守っていただく必要があります。

職員の連絡先(メール)

アドミニ、コーディネーター、教師のメールアドレスが学校のホームページの「Contact>>Faculty Directory」にて閲覧可能になりました。ご家庭の皆様が先生方と連絡を取る上で便利になることを願っています。

登録された連絡先等を変更する場合

生徒の情報のなかには、電話番号や住所など、連絡先が異なったものが登録されている場合が引き続き見受けられます。連絡先が変わった場合には、オフィスに速やかに連絡していただく必要があります。何か緊急事態が発生した場合に連絡を差し上げることもありますので、お子さんの安全のためにも、連絡先をしっかりと最新のものにしておくことは保護者の皆様の義務です。

ISA 試験結果

9月の最終週にG3、5、7、9の生徒がISA(国際スクールの評価)を受けました。そして試験は採点のために提出されました。

結果は、12月の休み中に受け取る予定で、休み明けの1月上旬にご家庭にお渡しできる予定です。

ファウンダーズアワード

KISTのファウンダーズアワードは、本校の創設者であるMr & Mrs Komakiによって設立されました。創設者の寄付により、この賞は奨学金という形で、本校設立の目的や理念に沿って本校に貢献し、本校の生徒として必要な精神を表すような資質を体現する生徒に授与されます。この賞のカテゴリーは3つに分かれています。

ゴールドアワード:	1年間の授業料を全額免除
シルバーアワード:	1年間の授業料を半額免除
ブロンズアワード:	1年間の授業料を25%免除

現在、G9、10、11に在籍している生徒が2011-2012年度のアワードに応募することができます。選抜基準については、本校のウェブサイトをご覧ください。応募を考えている生徒は、評価は現在の年度が審査対象になっていることにご注意ください。つまり、本年度の成績、態度、出席状況、一般的な学校への関わりがすでに評価対象になるということです。

アワードに関する応募の締め切り、応募方法などは、年度の終わりにお知らせします。

KISTにおけるLEAPの活動

LEAP(Learning Enhancement Academic Program)は、KISTで学ぶ生徒たちの学習をサポートするための新しい取り組みです。



探究の単元をベースにはしていませんが、IBプログラムと連動して働くように企画され、より深い理解をする過程で理解を積み上げるために必要な核となる知識や能力を養うためにさらなる支援が必要な生徒を、支援をします。このプログラムでは、英語と数学の分野で特に生徒の能力を上げることに焦点を当てます。

LEAPは現在、放課後のプログラムとして実施されています。そして、夏休み、春休みのプログラムにも拡大していきます。

また、LEAPはKISTで行っているカリキュラムとは異なることから、学びを深めたい他校の生徒にも開かれたものになっています。しかしながら、クラスによっては既に定員になっていますので、詳細についてはLEAPのウェブサイト www.k-leap.jp をご覧ください。

スタッフ 10!

今月のStaff 10!においては、2009年からKISTで仕事をされているセカンドリーの理科の先生であり、G10Bの担任であるDr Elsa Taylorを紹介いたします。



インドのKeralaにあるPeriyar野生動物保護区にて、自然を楽しむDr Taylor

● 故郷についておもしろいことを教えてください。

私は子どもの頃、毎年引っ越しをしていたので(12学年で13校の学校に行きました)、故郷というものがありません。けれども、私は自分の家族をニューメキシコのTomeで育てました。Mexico CityとSanta Feを結ぶCamino Realという道にある小さな農村でした。Tomeには小さな郵便局、壊れた牢屋、数軒の家ぐらいしがなく、学校や仕事に行くためには、Albuquerqueまで毎日行かなければなりません。ニューメキシコは多文化な場所で、世界中の人が住んでいて、また多くのヒスパニック、ネイティブアメリカンの人々が住んでいました。

● 世界で1番好きな場所はどこですか。

私が旅行した場所や楽しんだ場所は沢山あります。ヨーロッパは素晴らしいですね。特にギリシャ。インドは変化にとんだ国で、とてもおもしろい、フレンドリーな人々がいる国であつたので、その周辺を旅行するのも楽しかったです。

● 機会があつたら誰に会ってみたいですか。またそれはなぜですか。

Bill Bryson の本を何冊か読んでから(例 A Short History of Nearly Everything)、彼に会ってみたいになりました。彼の本はどれもとてもおもしろく、素晴らしいユーモアのセンスがあります。

● 何か特別な能力や才能はありますか。

過去に、建築家、インテリアデザイナーの仕事をして、実験室や銀行、レストラン、最先端のファッションブティック、ミュージアム、オフィスをデザインしたり、景観デザインもしたことがあります。また、今はベリーダンスを練習中です。

● 自分についてあまり知られていないことを教えてください。

息子がロサンゼルスにいて、コンピュータ・アニメーターの仕事をしています。娘はサンフランシスコに住んでいて、ファイナンス・プランニングの学位を12月に習得し、卒業する予定です。

● 宝物は何ですか。

過去4年間、私はギリシャの山のふもとの小さな村にある農場の石でできた古い家を改造しています。昨年、屋根が取り付けられ、海へ落ちないように家を守る壁を作りました。今年は、1階を部屋に分けて、水道と電気を通せたら良いなと思っています。

● 自分を表す言葉を教えてください。

友人に聞いたところ、「ヒッピー。良いことじゃない！」と言われました。あと、私は教養のある読書家でもあります。

● もう1度人生をやり直せるとしたら何をしますか。

子どもが幼いころから国際教育の分野に携わっていれば良かったかなと思います。そうすれば、子どもを世界中のインターナショナルスクールの環境の中で育てることができたと思うからです。

● 今現在、何か学んでいることや上達させようとしていることはありますか。

墨絵を習っているのと、ギリシャ語を(とてもゆっくり)習得しようとしています。

● ファンに一言おねがいします。

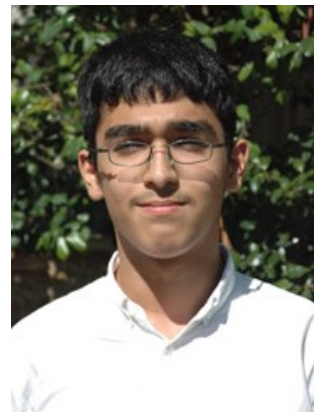
人生を大切に、前向きな考えを持っていてくださいね！



自分の問題と向き合おう

● 本当にあつた話を寄付して、一緒に孤児を救いましょう。

僕の名前はAryoです。KISTのG9に所属しています。僕は、皆さんに、人生においてぶつかった問題をどのように解決したのか、個人的な経験を聞かせていただきたいと思います。例えば家庭の問題、いじめ、友達、成績、健康/障害、他の環境へ引っ越すこと、外見、などです。



僕の目的は本を英語と日本語で出版することです。そして、その売り上げを“Gawad Kalinga”という組織に寄付したいと考えています。そうすることで、フィリピンの孤児の教育や、最低限の生活を整えることに役立つことができます。この組織のウェブサイトは、www.gk1world.comです。セカンドリーの生徒にはぜひ皆で参加してほしいと考えています。方法としては、以下のことが挙げられます。

人生においてぶつかった問題と、それを乗り越えた話を提出してください。

詳細:

- MSワードを使用して、英語か日本語で書く
- 文字数は600~1200語(2-4ページ)
- 名前(仮名でも匿名でも可能)と年齢
- submit@tackleyourtroubles.comに提出する

提出期限は、11月29日月曜日です。

ぜひ、僕のウェブサイトwww.tackleyourtroubles.comをご覧ください。自分の話を寄付することによって、子どもの人生を変えることができます。さらに、本を読んだ人にインスピレーションを与えることができます。すべての売上は、この目的のために使用されます。ぜひ、考えてみてください。

Aryo (G9B)

.....ハイスクール演劇祭.....

9月25日(土)に、毎年恒例のハイスクール演劇祭が横浜の Saint Maur International Schoolにて行われました。この演劇祭は、G9からG12までの生徒に中で、東京周辺のインターナショナルスクールに在籍する演劇に興味のある生徒たちが集合するというもので、KISTは光栄にもその一員となっています。演劇祭では毎年、あるテーマが与えられ、生徒たちは10分間のパフォーマンスを作らなければなりません。私たちは今年のテーマがどのようなものなのか、知るのが待ちきれませんでした。今年は、KISTを代表して9名の生徒が参加しました。9名の生徒は、Yeon Soo (G10A) Abeer, Airi, Fenella, Jeeho, Monica, Su Mee, Yeon Soo (G10B), Shreya (G12) で、Mr Marson と Ms Uraも参加しました。



土曜日の午前中に早起きをして、横浜まで長い距離移動をした後、KISTの生徒はその日のイベントに胸を高鳴らせながら開催場所に到着しました。ホールに集合した後、他校の先生や生徒と共に、その日を1日共に過ごすことになる10人ごとの6つのグループに分かれました。グループは年齢、性別、学校すべてばらばらで、参加者は全く知らない人と同じグループになる可能性が高いわけですが、これも、楽しみの一部です！

グループ分けの後、その日のテーマが発表されました。それは「わな」でした。テーマ発表の後には、各グループが活動を開始します。各グループは心を決めて活動し、作業を中断したのは、開催校によって美味しいおやつが配られた時と、昼食の時だけでした。

時間はあっという間に過ぎ、午後3時に、リハーサルと準備の時間は終了しました。すべてのグループはホールに戻り、他のグループと共に「わな」と関連させたオリジナルのパフォーマンスを発表し合う時間となりました。他の班の発表を見るのはとても面白かったです。各グループが同じテーマから全く違う劇を作り上げたことには毎度のことながら驚きました。劇のなかには、ミュージカル、演劇、模倣劇、コメディーそしてシュールリアリズムのようなものまでありました。素晴らしい才能が発表されたことは言うまでもありません。

パフォーマンスの後、1日は終わりました。けれども、私たちが築き上げた友情や、思い出はここで終わりになるわけはありませんでした。参加者たちは皆、とても楽しく、忘れら



れない経験になったと言っていました。演劇祭についてもっと詳しく聞きたい方は、どうぞ参加した生徒や先生に何でも聞いてください。

そして私たちこの行事が終わった今、ミドルスクールの演劇祭が11月3日にKISTを開催地にして行われることを楽しみにしています。G6-G8に所属する生徒で参加しようと考えている生徒、またはこれらの学年よりも上の学年の生徒で行事の運営を補助したい生徒は、Mr Rentoule、Mr Marson、Ms Uralに申し出てください。

Monica (G10B)

ADVERTISEMENT

Disaster Awareness



**Free event
Open to the public**
Tell your friends!

Shuttle bus service available from Shinagawa Station



Disaster Awareness Day

If an earthquake struck tomorrow, would you be ready? What about if your home caught fire or somebody in your family needed medical attention?

Pick up practical tips, practice crawling through smoke to safety and learn how to make an emergency call at this family-oriented event that will leave you set to deal with any calamity.

**Sunday, October 24
3-5 p.m.**

Tokyo American Club Parking Lot and 3F



4-25-46 Takanzawa, Minato-ku, Tokyo 108-0074
Tel: 03-4588-0570



TOKYO AMERICAN CLUB

Sponsored by the Tokyo American Club Women's Group



G8 キャンプ報告.....

今年のG8キャンプは秩父にある埼玉県立青年野外活動センターにて9月29日から10月1日まで行われました。

私たちは、池袋駅で集合し、西武秩父駅へ移動した後、キャンプ場までバスで向かいました。キャンプ場は田舎にありました。テントを張った場所は森の中で、周りには木しかありませんでした。今までテントに泊まったことはなかったので、とても新しい体験でした。

最初に行ったのは、班を作るゲームでした。“Human Knot”、“mingle”をはじめとする、チームワークが必要なゲームをいろいろやりました。その後、‘Dutch Oven’を使用して、自分たちで夕食を作りました。このように料理をしたのは初めてだったので、とてもおもしろかったです。作った料理は、野菜を詰めた鶏肉でした。全員に、何かしらするべき仕事があったので、料理を作るためには協力する必要があります。この日はとても寒い日だったので、温かい料理は最高でした。

夜が更けると、さらに寒くなりました。ほとんどの人がブランケットを3枚以上使ったのですが、それでも寒かったです。けれども、テントは十分居心地

が良かったです。2日目に、女の子たちは起きるのが遅かったので、朝ごはんを作るのを手伝えませんでした。けれども、男の子たちはしっかり起きて手伝っていたので、驚きました！朝食の後、全体は2つに分かれて、1つのグループは自然の中で美術をしに行き、もう1つのグループは体育館へ向かいました。体育館では、チーム対抗のゲームを沢山したり、自由時間を過ごしたりしました。

自然の中で美術をしたグループは、更に小さなグループに分かれ、森で見たものを使って美術品を作りました。その後、ラペリングを行いました。これは全員にとって初めての経験でした。怖がっていた人もいましたが、ほとんど全員、建物の下まで降りることができました。このようなことは、自分たちの家の近くではできないので、怖いとは思いましたが、挑戦してみました。ロープを使って降り始めると、雨が降っていて寒かったにも関わらず、とても楽しく思えました。

1日の終わりに、キャンプファイヤーをして暖まりました。おもしろい歌を

歌ったり、マシュマロを焼いたりして(とてもおいしかったです！)、とても疲れながらも満足感いっぱい眠りにつきました。最終日には、2時間かけて駅までハイキングをしました。その道のみでは、きれいなお寺や神社を通り過ぎました。みんな最低1回は滑ったり転んだりしてしまいました。このキャンプを通して、素晴らしい思い出ができただけでなく、友達ともっと親しくなることができました。沢山の新しいことも経験できたので、この思い出は絶対忘れません。

最後に、私たちを楽しませてくれたり、興味のあることをさせてくれたり、安全を保ってくれたEnglish Adventureのスタッフの皆さん、また3日間引率して下さったKISTのMr Nogami、Ms Gibbons、Mr Marson、Ms Kanazawa、Mr Farquharに感謝したいと思います。

Alyssa and Anna (G8A)



KISTで実施するPSAT

KISTにてPSAT(SATのための予備試験)を受験する生徒への重要なお知らせ

2010年10月16日(土)に、KISTはG10とG11の生徒を対象にPSATを行います。PSATとは、アメリカにて行われる1つの基準となる試験です。この試験を受けることによって、アメリカにおいて生徒がどのぐらいの学力を持っているか知ることができます。KISTでは、この試験をG10の生徒には必須とし、G11の生徒には希望者に行っています。

この試験では、生徒のリーディング、数学、ライティングの力を評価します。試験形式は、KISTの生徒があまり行ったことのない選択肢問題です。沢山のアメリカの大学がアメリカ国籍の学生の試験結果を、どの程度の奨学金を付与するかについての指標とします。KISTにおいては、奨学金のための試験(SAT)である統一試験に慣れてもらうためにこの試験を利用しています。アメリカの大学の受験を考えている生徒は、この試験を受験することによって対策を行うことができます。

保護者の皆様には、お子さんが想像よりも低い点数を取るかもしれないことに留意していただきたいと思います。しかし、これはおかしいことではなく、これは予備の試験の基準としてしか使用しません。KISTの進路カウンセラーであるMrs OkudeとMr WagnerはPSATとその結果について保護者と生徒の皆さんにいつでもご説明いたします。

10月16日に行われる試験を受ける生徒への詳細は右記の通りです。お子さんが試験開始の午前8時45分以降に来ることはないようにしてください。

G10とG11の生徒

PSATは、10月16日(土)にKISTにて行われます。以下の

案内をよく読み、当日は監督者の指示に従ってください。

日にち: 10月16日 土曜日

時間: 8時30分～正午

場所: KIST メインビルディング

教室と座席は、当日お知らせいたします。

試験冊子は午前8時45分に配布されます。監督者の指示に従い、25分～30分間、個人情報記入する時間があります。他の生徒がセクション1を開始している場合、遅刻した生徒は受験が認められませんのでご注意ください。

持ち物:

- HB鉛筆2本、消しゴム

セクション 1: クリティカルリーディング, 25 分間

セクション 2: 数学, 25 分間

休憩: 5 分間

セクション 3: クリティカルリーディング, 25分間

セクション 4: 数学, 25分間

休憩: 1 分間ストレッチの時間

セクション 5: ライティングスキル, 30分間

- 許可されているタイプの計算機(PSAT Student Guide 17ページ参照)
- Social security number (米国籍の生徒)
- 現住所
- メールアドレス(任意)

試験室にて飲食は禁止です。

当日は制服を着用してください。

文化をシェアする

先日、Mrs Deshmukhに、G7においてインドの文化、言語、宗教についてプレゼンテーションをしていただきました。どうもありがとうございました。生徒たちは、今学期、人文科学コースの一環として、インドの歴史や地理について学んでいるため、このようなトピックについて実体験を聞く素晴らしい機会となりました。

Mrs Deshmukhはお忙しい中時間を割いて下さり、沢山の話を下さったり、写真や工芸品を見せて下さったりしながら、学習を実生活のものとしていただきました。生徒たちプレゼンテーションの後、自らの文化、またクラスメイトの文化についてより深く理解することができたことコメントしてい



ました。またMrs Deshmukhはヒンズー教の女神 Sarasvati (知識、音楽、美術の女神)が江東

区の寺院で崇められている写真も見せて下さいました。

Stephen Marson

Secondary Humanities Teacher



秋のバレーボール報告.....

この秋学期、KISTのバレーボールはとても忙しく活動しています。14歳以下、また18歳以下の男子、女子のチームは一生懸命トレーニングを行い、東京のインターナショナルスクールを相手に何度も試合を行いました。

18歳以下の男子チームは、先週の木曜日にColumbia International Schoolとの試合で今シーズンを幕開けしました。3セットの接戦を行いました。それ以降、Canadian International Schoolにストレート勝ちし、British School in Tokyoと再びColumbiaと熱い試合を繰り広げました。このチームは、キャプテンのRyosukeや副キャプテンのFrankを中心によくまとめられています。

Mr Farquharによってコーチされている18歳以下の女子チームはInternational Secondary Schoolに勝利し、American School in Japanとも良い試合をして、素晴らしいシーズンの幕開けをしました。このチームはKarlee、Shifa、Monicaによってまとめられています。もうすぐ横浜にて大会があり、Yokohama International School、Saint Maur International School、Osaka International School、the Canadian Academy (Kobe)と対戦する予定

です。残りの今シーズンの試合も頑張ってください！

14歳以下の女子チームは、Mr Hepenstallによってコーチされ、まだTokyo International Schoolと1試合したのみですが、素晴らしい上達が見られました。朝や夕方のトレーニングの時に見られた彼女たちの情熱は素晴らしいです。

14歳以下の男子チームはまだ試合をしておらず、チームの人数も足りていません。男子チームに加わることに興味がある方には、Mr SpringかMr Ferrisに連絡してください。試合の予定は組んでいるので、できればチームとして戦いたいと思っています。

秋学期にご協力いただいているコーチ、選手、保護者、サポーターの皆さんに感謝いたします。

Will Spring
Sports/PE Coordinator



セカンダリーSRCより

新しいクラス代表者が発表されました。

ここ数週間、セカンダリースクールのすべてのクラスが新しいクラス代表を投票する間、校内の熱気が高まっているのを感じました。昨年は代表は各学年に1名でしたが、今年は各クラスに代表者がいます。

SRCは、すべての立候補者の努力と熱意、そして生徒や先生の協力に感謝いたします。そして、新しく選ばれたクラス代表者の皆さん、おめでとうございます。今年度、学校をより良くするために生徒全体を導いてください！最善を尽くしてください。何か学校生活に不安がありましたら、遠慮なく私たちに話に来てください。いつでも話を聞く準備はできています。



セカンダリー SRC クラス代表者

G6: Tuhina (G6A) / Eimi (G6B)
G7: Mihir (G7A) / Pranita (G7B)
G8: Kouta (G8A) / Junka (G8B)
G9: Takuma (G9A) / Miku (G9B)
G10: Marie (G10A) / Su Mee (G10B)
G11: Su Ah
G12: Saleha

セカンダリー SRC 実行委員

会長: Shreya (G12)
副会長: Ryosuke (G11)
書記: Matthew (G12)
会計: Pyay Phyo (G12)



セカンダリーSRCは、9月28日のフリードレスデイに参加したすべての生徒に感謝いたします。この日に寄付されたお金は92,849円になりました。このお金の用途は決まっています。次のフリードレスデイは2011年2月に予定されています。

KISTival 2010

どなたでも参加できます!

日付: 2010年10月23日 土曜日

時間: 午前10時—午後3時(9時40分開門)

(雨天決行)

KISTival 2010は、世界中の料理、楽しいゲーム、豪華賞品が当たる大抽選会、音楽パフォーマンスなど楽しいイベントが盛りだくさんです! 今年は、マギー審司、ハワイアンダンサーのHalau Na Mamo O Pohai Kalima、ロックバンドのX-24を特別ゲストとしてお迎えします。

他のイベントとしては、バザー、ゲームアーケード、フェイスペインティング、ヘンナペインティング、ネイルアート、お化け屋敷、Mr & Ms コンテスト、ジャンボエアースライダーなどがあります。

仮装

フェスティバル当日には、すべての来校者(大人を含む)はお祭り気分を盛り上げるために、仮装をすることを奨励しています。自分の好きな衣装を着て来てください。例えば、近年人気のある仮装としては、映画の主人公、この時期の行事(ハロウィン等)、民族衣装などが挙げられます。



マギー審司

入場料 1人100円(3歳以下の子ども無料)

入場料は、当日のごみ処理代に使用されます。なお、当日の出入りは、清洲橋通りのバスの出入り口を使用します。受付近くの通常の門は閉鎖されます。

抽選券(ラッフル) 1枚300円

お祭りの目玉イベントの1つは、1日の終わりに行われる大抽選会です。参加方法は、抽選券に氏名、住所等を書いて、欲しい賞品の箱に入れます。箱は、校庭(西館前)の抽選会用のテントに置いてあります。抽選は当日の午後2時45分に始まります。すべてのチケットに氏名が記入されているため、この時に必ず抽選場所にいないわけではありません。当選した方には後日お知らせいたします。本年度は以下のような素晴らしい賞品をご用意しております。

- 京都旅行券
- ディズニーパスポート
- ノートパソコン
- デジタルカメラ
- iPad, iPod
- Dysonの掃除機
- ...他にも沢山あります!



金券(クーポン券) 8枚つづりのチケット1冊1000円

ほとんどのブースで現金は使用できません。現金の代わりに、食べ物を買ったり、ゲームに参加する際には金券を使用してください。バザーでの買い物には金券と現金の両方が使えます。

駐車場、駐輪場

当日は、許可された車両(例:フードブース管理用)以外は、校内に駐車禁止です。一般車両や自転車用の駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

学校周辺の路上駐車は安全上、禁止されております。近年、不法駐車を近隣の方々が警察に通報するという残念な事態も発生しております。近隣の方々のことも考慮し、いかなる理由があっても路上駐車はしないようよろしくお願いいたします。

ぜひKISTival 2010に参加して、この行事を成功させましょう!

入場券、金券(クーポン券)、抽選券(ラッフル券)は、フェスティバル当日、または事前にオフィスから購入することができます。